

事業番号	15 05 02	事業改善シート（令和3年度実施事業分） <input type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案 <input type="checkbox"/> 点検			
事業名	特別支援学校体制整備事業費	部局	教育委員会	課・室	特別支援教育課
		実施期間	S24 ~	E-mail	tokubetsu-shien@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標					
総合的に展開する重点政策	1-1 生きる力と創造性を育む教育の推進				

1 現状と課題

目指す姿 これまでの取組	【目指す姿】 ・児童生徒にとって安全・安心な教育環境の確保 ・スクールバスを計画的に配備することによる児童生徒の通学の安全・利便性の確保及び保護者等の送迎の負担軽減 など 【これまでの取組】 ・GIGAスクール構想を実現するICT機器及び通信環境の整備 ・令和元～3年度の3か年での集中的な施設計画整備 ・令和元～5年度の5か年でのトイレ環境整備（全ての学校においてトイレの洋式化率80%、多目的化率20%を達成予定） ・児童生徒の通学保障に対応するスクールバスの配備（令和2年度5台増便、計41台での運行） など				
	令和2年度点検結果 (令和元年度実施事業分) 現状分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th>課 題</th> <th>今後の方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> ・経年劣化に対応した補修等による学校施設の維持保全と施設の長寿命化及び教育環境の向上が必要となっている。 ・特別支援学校整備基本方針に沿って必要性の高い学校から順次抜本的な整備を実施する必要がある。特に老朽化の進む松本養護学校及び若槻養護学校においては早急な対応が必要である。 ・スクールバス利用希望に対応できる体制整備をする必要がある。 </td> <td> ・老朽化している施設の修繕及び改修のほか、トイレの洋式化及び多目的化等、質的な学習環境の改善にも引き続き積極的に取り組んでいく。 ・特別支援学校整備基本方針及び松本養護学校・若槻養護学校の整備基本方針に基づき両校の整備基本計画の策定を進める。 ・スクールバス利用者を把握し適切に増車等の対応をするとともに、安全な運行のため計画的にバスの更新を進める。 </td> </tr> </tbody> </table>	課 題	今後の方向性	・経年劣化に対応した補修等による学校施設の維持保全と施設の長寿命化及び教育環境の向上が必要となっている。 ・特別支援学校整備基本方針に沿って必要性の高い学校から順次抜本的な整備を実施する必要がある。特に老朽化の進む松本養護学校及び若槻養護学校においては早急な対応が必要である。 ・スクールバス利用希望に対応できる体制整備をする必要がある。
課 題	今後の方向性				
・経年劣化に対応した補修等による学校施設の維持保全と施設の長寿命化及び教育環境の向上が必要となっている。 ・特別支援学校整備基本方針に沿って必要性の高い学校から順次抜本的な整備を実施する必要がある。特に老朽化の進む松本養護学校及び若槻養護学校においては早急な対応が必要である。 ・スクールバス利用希望に対応できる体制整備をする必要がある。	・老朽化している施設の修繕及び改修のほか、トイレの洋式化及び多目的化等、質的な学習環境の改善にも引き続き積極的に取り組んでいく。 ・特別支援学校整備基本方針及び松本養護学校・若槻養護学校の整備基本方針に基づき両校の整備基本計画の策定を進める。 ・スクールバス利用者を把握し適切に増車等の対応をするとともに、安全な運行のため計画的にバスの更新を進める。				

2 令和3年度事業内容

補正予算のポイント・主な取組 (予定)	<p>○令和4年度以降に見込まれる寿台養護学校児童生徒の増加に対応するため、教室の増改築を行い、適切な教育環境の確保を図る。</p> <p>○感染拡大の影響により修学旅行等を中止した特別支援学校の保護者が負担するキャンセル料等を助成</p>
------------------------	--

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]							No	成果指標	H30年度	R1年度		R2年度末	R3年度目標値	事業コスト	区分(単位:千円)		
						R1年度				R2年度	R3年度						
								前年度繰越	1,279,342	27,643	92,554						
								当初予算	785,971	784,209	1,046,607						
								補正予算	37,172	379,219	57,358						
								合計(A)	2,102,485	1,191,071	1,196,519						
								うち一般財源	572,660	427,186	532,865						
								決算額(B)	2,044,940	1,017,540							
								職員数(人)	3.13	3.13	3.13						
成果指標設定理由		1 集中的に施設整備を3か年で実施 2 集中的なトイレ整備を5か年で実施 3 スクールバス乗車基準															

事業名	特別支援学校体制整備事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	特別支援教育課
-----	---------------	----	----------	-----	---------

細事業 No.	細事業名	R1年度 最終予算		R2年度 最終予算		R3年度 予算	
						当初予算	
1	給与費等					59,817	
						0	
		計	42,471	計	49,222	計	59,817
		千円		千円		千円	

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	スクール・サポート・スタッフ配置事業	直接	公立特別支援学校19校に教員の業務をサポートするスクール・サポート・スタッフを配置（各校1人、計19人）し、教員が児童生徒の学びの保障に注力できる体制を整備
2	盲・ろう学校非常勤講師等配置事業	直接	盲学校に非常勤講師2人を任用し、教育カリキュラムを充実
3	視覚・聴覚障がい児早期教育支援事業	直接	早期支援指導員及び早期教育相談員を4人ずつ配置
4	研修等代替非常勤講師配置事業	直接	研修代替非常勤職員を2人配置
5	特別支援学校妊娠教職員母性保護事業	直接	体育代替非常勤講師及び養護教諭非常勤講師、学級担任補助員、寄宿舎指導員宿直代替職員の配置

細事業 No.	細事業名	R1年度 最終予算		R2年度 最終予算		R3年度 予算	
						当初予算	
2	特別支援教育推進指導事業費					292,859	
						0	
		計	150,338	計	205,873	計	292,859
		千円		千円		千円	

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	学校管理運営事業	直接	タブレット端末等のICT機器及び通信環境の整備によるICTを活用した効果的な教育の推進

細事業 No.	細事業名	R1年度 最終予算		R2年度 最終予算		R3年度 予算	
						当初予算	
3	就学奨励事業費					366,310	
						0	
		計	324,389	計	319,288	計	366,310
		千円		千円		千円	

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	特別支援教就学奨励費事業	直接	特別支援学校に通う児童生徒の保護者等に対する就学奨励費の支給（国庫1/2）

事業名	特別支援学校体制整備事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	特別支援教育課
-----	---------------	----	----------	-----	---------

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 最終予算	R 2 年度 最終予算	R 3 年度 予 算
---------	------	----------------	----------------	---------------

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 最終予算		R 2 年度 最終予算		R 3 年度 予 算		
		計	千円	計	千円	計	千円	
4	特別支援学校整備事業費	当初予算				194,868		
		補正予算				56,402		
		計	166,199	千円	計	244,228	千円	計

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	特別支援学校施設計画整備事業	直接	17校、26箇所において施設整備を実施 稲荷山養護学校において、厨房拡張工事及び調理器具の更新を実施 体育館照明のLED化推進
2	特別支援学校トイレ環境整備事業	直接	4校、15箇所においてトイレの整備を実施（洋式化9箇所、多目的化6箇所）
3	寿台養護学校の教室増築事業	直接	特別教室（陶芸室）を普通教室2室に改修するとともに、特別教室2室を増築

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 最終予算		R 2 年度 最終予算		R 3 年度 予 算		
		計	千円	計	千円	計	千円	
5	特別支援学校運営費	当初予算				269,969		
		補正予算				956		
		計	138,377	千円	計	225,651	千円	計

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	学校評議員設置事業	直接	地域住民や保護者などを学校評議員として委嘱し、学校運営や学校自己評価についての助言を得る。
2	通学バス・公用車整備事業	直接	スクールバス1台を更新 スクールバス1台を新規リース 感染症重症化リスクの高い児童生徒等を対象とした、ジャンボタクシー等の利用によるスクールバスの増便
3	特別支援学校学習環境整備基金事業	直接	基金運用益の利子を受け入れ、基金に積み立て、運用益で図書を購入
4	県立学校修学旅行取消料等支援事業	補助金	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により修学旅行等を中止した特別支援学校の保護者が負担するキャンセル料等を助成